

あだたら

四月二十九日(金)

第六十五回定期総会

三年振り「集まって」実施

報告 編集部

第402号
発行所 山形県あだたら市
編集 山形県あだたら市

●編集部連絡先
二本松市部内1-5-15
0243(22)4245
Fax可 渡辺 正



第六十五回の定期総会は、四月二十九日(金)昭和の日の休日に、午後五時から、駅前市民交流センター二階第二会議室で開催された。第六十三回、六十

四回は、新型コロナウイルス対策で書面決議だったので、三年振り、集まって行われた総会だった。当日は午前中は晴れていたが午後からは冷たい強い雨が降り、例年同日に実施されていた、湯川溪谷登山道整備は中止された。

総会は、□□□副会長の開会挨拶、次に□□□□会長挨拶。次いで議長に、元会長の□□□□さんを選出し、議事が始められた。昨年度の経過報告、決算報告、監査報告は了承された。今年度の行事計画については、問題なかったが、予算について、昨年度の総会で、無くした筈の「入会金」の計上を指摘され、訂正する事となった。収入から入会金名目の「一万五千元」の減額、支出の予備費から同額を減額する。よって、今年度の予算額は、一、四九三、七九六となる。問題はあったものの、今年度分の行事計画、予算も了承された。

今回の総会では飲食無し、とはいっても「飲物」だけは配られた。また、以下の物品も、希望者に配られた。

- 今年の 安達太良山 開きポスター
- 安達太良山トレッキングガイド(地図)
- また、在庫となっていた以下の書籍も希望者に配布された。
- 会創立50周年記念誌『稜線』
- 会報あだたら 縮刷版



17時15分、□□会長挨拶

総会の参加者は十五名、予定希望者数より減った。天候悪化もあったので、登山道整備が無かった。総会もという会員、開始時刻を間違えた会員も居られたようだった。

第2号

四月二十三日(土)

湯川溪谷登山道下見

報告 編集部



13時34分、塩沢登山口に下山

八時十四分登山口。「馬返し」の上で既に登山道に雪。「雪の回廊」もその名の通り雪に埋もれていた。その上には倒木、炭焼窯の脇の沢も雪、直前に雪崩た跡も見えた。三階滝分岐手前の大倒木にも雪、ここで残雪見たのは初めて。「衝立岩」手前からは三階滝が木立を通してよく見える、水量も多い。三階滝滝壺に落ちる二本の沢、両方共雪で埋もれていて、更に手前手掛り鎖も切れていた。屏風岩向いの沢、横切る歩道は完全に雪の下、向こう岸には鎖が切れて垂れ下がっているのが見えた。手掛り鎖切れているのだ。鎖切れは2カ所目。雪に埋もれた岩の沢、下の川面まで何の手掛りもないので、落ちるわけに行かない、慎重に横断する。続いて棧橋、最上流側の手掛り鎖に、大きな落石が挟まっていて、すぐに落ちるようなことは無いと思われるが、危険な状況、拾った木の棒で落とそうと試みた棒が折れてしまった。そのままにして更に登る。天狗岩下の徒渉地点、その上の二本の巨大倒木、雪の影響か更に下にすり落ちて、下流側は這って通らなければならぬ。(3頁に続く)

五月八日(日) 湯川溪谷登山道整備

報告 編集部



8時17分、塩沢登山口出発

五月八日(日)、四月二十九日に行えなかった、湯川溪谷登山道整備を実施した。会員外の四名を含め、参加者は十四名。良く晴れていたが、風は冷たく、冬並みの寒さだった。予定ではくるがね小屋迄登る、昼食は小屋で摂る、と言う計

画。八時十七分、登山口出発。□□□□さんは馬返し廻りの登山道に排水路と土嚢袋を設置して、掘られるの防止する作業を実施するのでここで一応お別れ。他の参加者は更に登山、「雪の回廊」上で倒木伐採。先週の真夏

を思わせる暑さのせいで、雪の全く消えた登山道登って、三階滝分岐。この休み場で一服。ここで作業班分け。□□さん中心で途中の「切れた手掛り鎖」修理班□□さん、□□□□さん、□□□□さん。残りは、ひたすら登って、棧橋設置、橋掛け作業に従事する。まずは、屏風岩向かいの棧橋設置。最初に、手掛り鎖に引っかかっている岩の排除。結局石の上部を手前に引き、鎖から外すことが出来た。持参した普通サイズのスコップと、棧橋の木材が役に立った。次は、天狗岩下の飛び石徒渉地点、飛び石整理してしまっただけ。怪我してしまっただけ。石運んでいて落として指先割れてしまったといい、止血処理されていた。次の作業は荒竜岩橋設置、荒竜岩下橋の向かいに雪が現れ、スコップで足場掘った。向かい側に渡るには、以前の橋掛け場所に引っかかっている流木を、滑らないように気をつけて渡る。橋設置した□□□□さんがいないので、岩に刺さっているポルトどう使うのか判らない。足場板の色変わった所に刺してみるのがうまく収まらな

い。石を置いたりして何とか納め、番線で岩に埋め込まれているポルトと結んだ。時刻は既に十一時過ぎ、小屋迄登ると午後になってしまふ。最後の橋、「天狗

の庭橋」の状態だけでも確認したくて、□□さんと一緒に先行して登る事にした。荒竜岩上橋も残っていた。夏まで残る雪田には沢山の雪。天狗の庭橋到着は、十一時四十九分、四十分弱掛かった。橋は真ん中から折れ、落ちていたが石の上なので、渡ることは出来そう。渡りはしなかった。折れた橋の写真撮って下山、他の参加者は精錬所跡に来ていた。後から登って来ている□□□□さんに連絡、荒竜岩橋まで登って来ていて、昼食にしているという。そこで精錬所跡でも昼食にした。昼食終わって午後一時。後は下山となった。屏風岩下まで下がったとき、後ろから来た登山者に声掛けられた。橋板・棧橋掛けて、鎖固定して貰って、とても楽になっていて有り難かったとお礼言われた。小屋下の塩沢別れに「閉鎖中」の札掛けてあるのに、入ってくる登山者はいらう。午後二時半過ぎ金剛清水着、そのベンチ、土台が腐って、柵板も壊れて、釘の先も出ていて危ないので壊れ掛かっていた柵板など取り外した。馬返しでは□□□□さんの設置した土嚢袋など確認した。午後三時過ぎには全天無事登山口到着、道具材料など回収して、写真撮影して解散した。

の「庭橋」の状態だけでも確認したくて、□□さんと一緒に先行して登る事にした。荒竜岩上橋も残っていた。夏まで残る雪田には沢山の雪。天狗の庭橋到着は、十一時四十九分、四十分弱掛かった。橋は真ん中から折れ、落ちていたが石の上なので、渡ることは出来そう。渡りはしなかった。折れた橋の写真撮って下山、他の参加者は精錬所跡に来ていた。後から登って来ている□□□□さんに連絡、荒竜岩橋まで登って来ていて、昼食にしているという。そこで精錬所跡でも昼食にした。昼食終わって午後一時。後は下山となった。屏風岩下まで下がったとき、後ろから来た登山者に声掛けられた。橋板・棧橋掛けて、鎖固定して貰って、とても楽になっていて有り難かったとお礼言われた。小屋下の塩沢別れに「閉鎖中」の札掛けてあるのに、入ってくる登山者はいらう。午後二時半過ぎ金剛清水着、そのベンチ、土台が腐って、柵板も壊れて、釘の先も出ていて危ないので壊れ掛かっていた柵板など取り外した。馬返しでは□□□□さんの設置した土嚢袋など確認した。午後三時過ぎには全天無事登山口到着、道具材料など回収して、写真撮影して解散した。

の「庭橋」の状態だけでも確認したくて、□□さんと一緒に先行して登る事にした。荒竜岩上橋も残っていた。夏まで残る雪田には沢山の雪。天狗の庭橋到着は、十一時四十九分、四十分弱掛かった。橋は真ん中から折れ、落ちていたが石の上なので、渡ることは出来そう。渡りはしなかった。折れた橋の写真撮って下山、他の参加者は精錬所跡に来ていた。後から登って来ている□□□□さんに連絡、荒竜岩橋まで登って来ていて、昼食にしているという。そこで精錬所跡でも昼食にした。昼食終わって午後一時。後は下山となった。屏風岩下まで下がったとき、後ろから来た登山者に声掛けられた。橋板・棧橋掛けて、鎖固定して貰って、とても楽になっていて有り難かったとお礼言われた。小屋下の塩沢別れに「閉鎖中」の札掛けてあるのに、入ってくる登山者はいらう。午後二時半過ぎ金剛清水着、そのベンチ、土台が腐って、柵板も壊れて、釘の先も出ていて危ないので壊れ掛かっていた柵板など取り外した。馬返しでは□□□□さんの設置した土嚢袋など確認した。午後三時過ぎには全天無事登山口到着、道具材料など回収して、写真撮影して解散した。



倒木下は、這って、通過



「引っかかり石」排除



「雪の回廊」上の倒木、排除



道からの排水、土嚢袋、馬返し



落ちていた、天狗の庭橋



荒竜岩橋の架け直し

三月二十九日(火)

個人山行 今年初のくるがね小屋

報告 □□□□



朝から晴れ上がった三月二十九日、くるがね小屋まで挑戦して見ようと奥岳スキー場でアイゼンを付け出発。雪が多く八字の頭の道標、勢至塔、勢至分岐の道標も雪の中。

くるがね小屋は二階の窓まで雪の中の小屋の様だ。二時間五十分掛かり小屋へ辿り付く。午後二時下山準備を始めると管理人より「泊り客が今勢至平にいます。会ったら声掛けて」と言われた。アイゼンをしっかり付けて、二時半出発、金明水も無事通過。勢至分岐まで来たが、登りの人に会わない。午後三時なので心配になり小屋へ電話する。周りを見ながらの下山、勢至塔を少し下った所で母親と二人の男の子、三人と出逢う。話を聞くと小屋で言われた人だ。母親と十一歳と九歳の男の子、三人とも



2022/03/29 17:07

長グツ。雪国で使う爪の無い輪カンジキ(新)は三人共持っている。アイゼンは持っていない。ここまでは良かったが一番心配なのは、ソリに大きな荷を積んでいる事だ。小屋へ電話を入れ母親と話させる。母親は行きたいと言う。ソリを引いて金明水の斜面を越えるのは無理。金明水手前に置いて行くなら行けると思う。大きな袋の中身を聞くと三人の寝袋等が入っているとの事。再度、小屋へ電話をし、そのことを話し母親と話し合させた。下山する事にしたので頼むとの事。

三時半になっている。早く下山しないと暗くなると勧める。十一歳の男の子が急に大声を上げたり落着きの無い行動になる。安達太良には前に来た事がある。岳温泉のペンションに泊まった事があるが、どこか忘れたの事。知り合いのペンションに電話を入れ予約を取ってやり下山する気になる。ソリの荷は何回も倒れ荷崩れををする。母親の直すのを見て居るとソリの中央の穴に自転車の丸ゴムの荷付け紐を通して上で先端のフックで止めただけ。これでは同じと思ひ、直してやり、後ろでも引ける様、紐を長く出し、母親が引き九才の男の子が後ろで押さえ下山する。

八字の頭では十一才の男の子が谷の方へソリを押し流す。思わず大声で子供を叱ってしまった。幸い木に当り止まったので引き上げ、馬車道を下る。途中何回かトラブルもあったが、五時少し過ぎ奥岳駐車場へ下山出来た。ペンションまで案内し事情を話し泊めて貰う事になり六時過ぎ帰宅する。晩酌をし今日の反省。良かった

この場所、川の側に昔の道跡が残っていて、ちゃんと道に見え、口口さんには教えて頂いた。その上天狗岩下の岩壁の横断ヶ所、完全に雪で覆われ、手掛り鎖も出ていない。キックステップでなく、スコップで足場穴掘って通過。天狗岩上橋は残っていたが、両岸とも雪。登り崖に雪は無かったが、その上の崖隙間は雪。スコップで足場穴掘って通過。荒電岩下橋は無事。向い側の登山道は雪に埋まっていた。これも足場穴掘って登る。荒電岩橋の架橋場所に、雪は無かった。あるように思える。大声をあげた事、注意の仕方が悪かったのではないかなと反省している。普通の子供であって欲しいと願っている。

この場所、川の側に昔の道跡が残っていて、ちゃんと道に見え、口口さんには教えて頂いた。その上天狗岩下の岩壁の横断ヶ所、完全に雪で覆われ、手掛り鎖も出ていない。キックステップでなく、スコップで足場穴掘って通過。天狗岩上橋は残っていたが、両岸とも雪。登り崖に雪は無かったが、その上の崖隙間は雪。スコップで足場穴掘って通過。荒電岩下橋は無事。向い側の登山道は雪に埋まっていた。これも足場穴掘って登る。荒電岩橋の架橋場所に、雪は無かった。あるように思える。大声をあげた事、注意の仕方が悪かったのではないかなと反省している。普通の子供であって欲しいと願っている。



塩沢スキー場のカモシカ



僧悟台への橋も健在



屏風岩向いの急な沢も雪に埋もれて、チェーンも切れていた

◆最近新入会員歓迎登山やっています。黒森山という、実に安達太良山の眺めの良い山あるのに。新入会員募集の会報作るうかと思ひます。会員募集に使えそうな話題下さい。

◆登山道整備作業、以外と登山者から目立っているようなので、「お手伝い募集！」なんてことやってみるのも良いかも知れない。

◆山開きは今週の日曜日、天気予報では、前日の土曜日午前中まで雨、当日は朝から晴れの予定。

今日の例会で参加者募集。奮ってご参加下さい。

◆写真「雄大な安達太良山一〇〇選!」、募集中、編集部まで。

◆個人山行の記事下さい、メールだと有り難いのです。が、手書きも歓迎、FAXも受信できます。

編集後記 四〇二号



スキー場のカタクリ

四月二十三日、下見(続き)

たが、その奥の登山道には、またもや大量の雪。ここで十一時半、下山することとした。下山途中で馬返しから僧悟台への道に入り、橋を確認、流されては居らず残っていた。

登山口到着十三時三十分。雨が降り出した。車が一台あった。スキー場には、カタクリが一杯咲いていた。スキー場に「人影」らしいものが、山菜採りしている「お婆さん」に見えた。実は「カモシカ」だった。雨はどんどん強くなり、車に戻った頃は、ずぶ濡れになってしまった。